

<SDGs> 障がい者アーティストの活動の場の創出と自立支援に協力

パラリンアート世界大会 2022、最終選考に参加

パークホテル東京（運営：株式会社芝パークホテル 東京都港区、取締役社長 柳瀬連太郎）は、このたび一般社団法人障がい者自立推進機構パラリンアート運営事務局（以下、パラリンアート運営事務局）が主催する「パラリンアート世界大会 2022」の最終選考の審査員となり、規定に基づき審査を行いましたのでお知らせいたします。

パークホテル東京は SDGs 宣言において、障がい者アーティストの活動の場の創出と自立支援を目標に、パラリンアート運営事務局協力のもと、館内で世界中の障がいのあるアーティストが芸術才能を披露することができる展示会（29階、32階の客室回廊）を開催するなどの活動をおこなっています。パラリンアート世界大会には例年協力企業として参加していましたが、本年は最終選考の審査員として参加させていただきました。選考日は10月6日（木）で、2022年大会のテーマ「未来(FUTURE)」に相応しい作品を選ぶべく社内のアートチームスタッフ3名により議論を重ね、審査を行いました。結果発表は他の審査員方々の評点とあわせて2022年12月にパラリンアート運営事務局より行われる予定で、受賞作品は当ホテルの展示会場に飾られます。

多くの方々に受賞作品をご覧いただきたく、この機会に皆様のご来館をお待ち申し上げております。

パークホテル東京は、これからも“サステナブル（持続可能）な旅”に貢献するべく、努めてまいります。

障がい者アーティスト活動への取り組み

- ・作品展示会の開催（通年）
- ・作品展示兼販売
- ・募金箱の設置
- ・ホテル館内自動販売機の売り上げの一部を寄付
- ・パラリンアート世界大会に協力
 - ⇒2021年より審査員として参加
- ・1泊につき200円がパラリンアートに寄付される
宿泊プランを通年販売



パークホテル東京での、パラリンアート世界大会 2022 の最終選考の様子

パークホテル東京について

パークホテル東京は、芝パークホテル（東京・港区・1948年創業）の姉妹ホテルとして、2003年汐留メディアタワーの25階から34階に誕生いたしました。25階にはフロント、レストラン、バーがあり、フロントからは東京タワーを臨む景色をお楽しみいただけます。客室数は270室、26階から34階が客室です。2013年に「日本の美意識が体感できる時空間」をコンセプトにアートを基軸としてリブランド、そのプロジェクトの一つとして客室の壁をキャンバスとした「アーティストルーム」が34室あります。このプロジェクトは、現在も進行中で、2017年には第3回ジャパン・ツーリズム・アワード『領域優秀賞』を受賞いたしました。



本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

芝パークホテル / パークホテル東京 販売促進課：早乙女

sotome@shibaparkhotel.com

TEL：03-3433-4141（代） FAX：03-5470-7515